

平成 29 年発生 の 死亡 災害 事例

番号	署別	発生日	業種	災害発生概要	起因物 事故の型
1	奈良	4月	製造業	資材置き場で、溶接し終えた部材をクレーンで吊りあげたところ、バランスが崩れ被災者の首付近に当たった。	金属材料 激突され
2	桜井	6月	林業	木材の伐出作業中、合図等しないまま、伐採したため近くで玉切り作業中の被災者を直撃した。	立木等 激突され
3	奈良	7月	農業	草刈作業を行っていたが、体調が悪くなり早退した。帰宅後、病院へ搬送され入院中、回復の兆しをみせていたが、急変し6日後に死亡。(熱中症)	高温環境 高温の物との接触
4	奈良	8月	建設業	木造家屋解体現場において、ブロック塀が倒れ、前面道路に停車していたトラックとの間に挟まれた。	建築物、構築物 崩壊、倒壊
5	桜井	8月	運輸交通業	パレットを積み重ねた上に被災者を乗せ、フォークリフトで上昇させて、天井の水銀灯の電球の交換をしようとしていたところパレットが崩れ、被災者が飛び降りて墜落した。	フォークリフト 墜落、転落

6	大淀	11月	建設業	落石防止用ネットの張り替え工事中、親綱の結束部を外そうとした際に法面から転落した。	地山・岩石 墜落・転落
7	桜井	12月	運輸交通業	高速道路を走行中、路面の凍結によりスリップしガードレール等道路工作物に激突した。	トラック 交通事故

平成 30 年 1 月 31 日現在把握状況